

## サギだ！

ことの始まりは、2月14日午後、名古屋大中央図書館前の池で見かけた1羽のサギだ。新聞で見た東山動物園ペンギン舎のネット上の大きなサギ、そして東山新池のフナをくわえたサギの写真により、どうもサギのことが気になっていた。まさか、こんな近くでサギに会えるとは。思わず「サギだ」と叫び、さっそく愛用のiPadで写真に撮った。「サギにあった話」はつづく。



フェイスブックで写真だけを投稿したが、あまり反応はなかった。当日の日経新聞朝刊に「特殊詐欺を防ぐ 高齢者ATM振込制限」という記事が出ていた。広島銀行の「ボイスポリス」という写真も掲載されていた。そこで思いついたのが、サギの写真をATM近くに掲示することだ。私のように「サギだ」と叫ぶ人で、ホンモノ詐欺師が逃げていくのでは。でも、サギさんに悪いので、名案だが「妙案」なので撤回すると投稿した。



これには珍しく反応があり、あのサギは灰色だが、「青サギ」だと教えてもらった。帰宅途中の地下鉄「星ヶ丘駅」改札口近くで、とある掲示が目にとまった。名古屋市消費生活センターの「その電話、怪しいカモ！」。見た記憶があるが、気にとめずに通り過ぎていた。

これは使えると思い、女子大生の視線を感じながら写真におさめた。帰宅するまでに、いくつか名案が浮かんだ。ここはサギさんにもお出まし願ひ、カモさんとの「かけあい」など。カモがサギに向かい、「ホントウの詐欺カモ」と語りかける。こんな写真がATMの近くに掲示されると、先日の私のように「あ、サギだ」と叫んだり、詐欺を思い出してもらえるのではないと。



こんなキャッチコピーもいいカモと考え、懲りずに投稿した。思わず笑ってしまったという感想も。誰か、どこかで、「サギ・カモ漫才」をキャッチしてくれないだろうか。サギさんに会えて、元気が出てきたカモ？

(2017年2月22日)